



「シフト」特集



記事広告



地域連携

中日新聞・中日スポーツ 2020年年間テーマ 「シフト～未来をつくろう～」特集 スタート

シフト

COP10から10年 2020年、未来の環境を考える

地球環境問題解決は小さなことから始めていかなければならない

「2020年のキーワード」

シフト
未来をつくろう

変化の時代、さまざまなモノやサービスが生まれ、環境に負荷をかけていくことが懸念されています。ITやAIなど、未来を予測する技術が飛躍的に進歩し、生活の中心がデジタル空間に移ることで、環境負荷が軽減される一方で、大量のデータ処理に伴ってエネルギー消費が増加し、気候変動の加速が懸念されています。また、デジタル化に伴って、紙の消費も減少し、環境負荷が軽減される一方で、大量のデータ処理に伴ってエネルギー消費が増加し、気候変動の加速が懸念されています。

項目	2019年	2020年	変化率
CO2排出量(トン)	2,022	2,048	1.0%
エネルギー消費量(キロワット時)	916	927	1.2%
紙消費量(トン)	741	732	1.5%
プラスチック消費量(トン)	517	527	1.8%
廃棄物発生量(トン)	200	206	2.5%
リサイクル率(%)	21.7	22.0	0.3%

三重の木とともに

いのちを育み、暮らしを支える。

三重の木を育て、暮らしを支える。木材産業は、地域を活性化させるために欠かせない産業の一つだ。古くは江戸時代から人工造林が行われ、戦後の拡大造林を経て、現在多くの森林資源が活用できる状況である。三重県は、森林資源の豊富で、木材産業が盛んな地域である。三重県は、森林資源の豊富で、木材産業が盛んな地域である。

伐採
小さい頃から育てた木は、成長が速く、木材の質も高い。伐採は、森林の再生を促すために不可欠な作業だ。

建築
住む人も作り手も大切に。良質な木材を使い、環境に優しい家を建てよう。

加工
木材を加工し、さまざまな製品に生まれ変わる。木材の活用範囲が広がっている。

販売
木材を販売し、消費者に届ける。木材の流通がスムーズに行われる。

利用
木材をさまざまな用途で利用する。木材の活用範囲が広がっている。

ココ・コーラシステムの 持続可能な容器への取り組み

日本のココ・コーラシステムは、2030年を目標とする持続可能な容器への取り組みを推進しています。この目標に向けて、私たちは様々な取り組みを行っています。

World Without Waste (世界をゴミのない世界に)
2025年までに、世界のゴミをゼロにする目標を掲げ、持続可能な社会の実現を目指しています。

容器軽量化と次世代素材
容器の軽量化と次世代素材の採用により、CO2排出量を削減しています。

バイオプラスチックの積極利用
バイオプラスチックの積極的な利用により、環境負荷を軽減しています。

PETボトルの回収・リサイクル率
PETボトルの回収率とリサイクル率を向上させています。

三重の木をふれて、三重の木を知るフェス木バル

三重の木をふれて、三重の木を知るフェス木バル。三重の木を育て、暮らしを支える。木材産業は、地域を活性化させるために欠かせない産業の一つだ。

フェス木バル
三重の木をふれて、三重の木を知る。木材の活用範囲が広がっている。

イベント情報
2/2日 10:00-18:00 (イオンモール津南 1Fのみ)

2/9日 10:00-18:00 (イオンモール東員 1Fのみ)

他にもたくさん楽しいイベント盛りだくさん!!

●三重の木にまつわる方々のご紹介 ●木造住宅PRコーナー

主催/三重県木材協同組合連合会
TEL:059-228-4715 http://eismokuren.com/

▲【シフト特集・第1弾】 2019年12月31日付 中日新聞朝刊

▲【シフト特集・第2弾】 2020年1月25日付 中日新聞朝刊 三重版

グローバル化・技術革新の進展により加速度的に変化する環境下にあって、いよいよ多くの企業が「シフト」しなければ生き残れない時代となりました。いままで当然のことと考えられていた認識や生活様式、社会全体の価値観などがまさに劇的に変わっています。

ダーウィンの進化論を借りれば、「最も強い者や最も賢い者が生き残る訳ではなく、最も変化に懸命だった者、最も環境変化に適応した者が生き残る」。

そこで中日新聞広告局は、2020年の年間テーマを「シフト」としました。2019年の年間テーマ「変わる」は制度やしくみ、世の中の変化を伝えてきました。一方で「シフト」は、変化する時代の中で能動的に適応していくこと、それをいざなうのが中日新聞でありたいと考えます。

これまでのトレンドが一気に転換する可能性を秘める2020年の一年間、「シフト」というキーワードで特集紙面を展開していきます。

名古屋本社 広告二部 緒方直晃